

グローバル地域創生支援を目指すジャパンリーダー能力開発養成プログラム(農学学位プログラム)

専門基礎科目_共通科目(グローバル地域創生支援を目指すジャパンリーダー能力開発養成プログラム(農学))

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OBNM903	ジャパンリーダーエンパワメント演習	2	2.0	1				プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置付けを認識することを目的とする。SDGsのもと、地域資源の可塑性の維持と持続的利活用による世界の存続の基盤であり、グローバル地域創生支援に繋がることの基盤を総括する。世界レベルで持続的発展は、相互依存となっていることと理解を深め世界規模課題について、多様な方向性と施策を議論する。特に、日本に関わる事例をとりあげ、日本国内の地域創生と日本産業の海外での事業について共に、異なる人材が多様性を持って協働する必要性について、課題の理解を深める。学生個々の深い研究課題と関連付けつつプログラム参加学生が幅広い知見の理解を醸成させる。	英語で授業。 2026年度開講せず。 対面
OBNM904	ジャパンリーダーエンパワメントインターンシップ I	3	1.0	1				ジャパンリーダーエンパワメント演習による基盤理解ののち、初年度第2学期(秋入学なので通常春学期)より、学生が個別に地域資源の持続的利活用によるグローバル地域創生支援を目指すジャパンリーダー能力開発養成プログラムに関連課題について調査課題を起案設定し、課題調査あるいはインターンシップあるいは両方について実施し、報告会にて報告を行う。特に、筑波大学協力組織の支援に基づき、日本国内での地方調査あるいはインターンシップあるいはその両方を勧奨する。調査のための旅費等は、大学の派遣資金や外部資金による支援を行う。	英語で授業。 2026年度開講せず。 対面
OBNM905	ジャパンリーダーエンパワメントインターンシップ II	3	1.0	2				先行のジャパンリーダーエンパワメントインターンシップ Iを必修として、これを履修後、日本社会の理解深化のための日本の地域社会での地域資源と地域創生に関わる活動を提案、実施及び報告する。	英語で授業。 2026年度開講せず。 対面 使用言語:英語及び日本語